

# 令和3年度住まい住環境整備モデル事業 事業者交流会 事業報告



## サツキPROJECT ～西日本豪雨で被災したアパートを 地域の防災拠点住宅に再生する～

「今年はサツキの花がきれいに咲くぞ」

水害の後は酸性土になって  
サツキがきれいに咲く。  
真備の町花をサツキにした  
先人たちの知恵を伝えつないで  
いく。

令和元年度課題提案型

三喜株式会社（ぶどうの家・チームサツキ） 津田由起子

# きっかけは大切な人を失ったこと

- 住まいの再建に不安を抱える被災者と勉強会を重ねるなかで、真備への愛、家族への想いがあふれた
- 「真備に帰りたい。でもまた災害が起こるのではないか」
- 「歳をとって一人で暮らしていけるのか」



第1回  
住まいについて考える！  
これからの私たちの住まいと暮らしについて、  
専門家を交えて一緒に考えてみませんか？

H30年11月11日(日) 14:00~  
**SOSU IN 真備**

開催場所: ぶどうの家BRANCH (B.B.) 真備町辻田197

講師: 防災まちづくりの専門家 磯打さん(香川大学)  
在宅医療の専門家 浅野さん(あさのクリニック)  
建物・住まいの専門家(調整中)

お申し込み不要。当日直接会場にお越しください。

同日開催！

- ① 16:00~みんなで炊き出しを食べよう
- ② 生活物資の0円フリーマーケット
- ③ お風呂の無料開放 16時~20時半まで

\*②③については毎日開催

お問い合わせ: TEL:086-697-5256  
ぶどうの家3R

- 小規模多機能ホームぶどうの家の利用者が犠牲に
- 介護が必要な方のご家族は避難所への避難をためらい逃げ遅れた

最悪でも垂直避難ができ、日頃から安心して避難できる場所が身近にあれば命は助かる

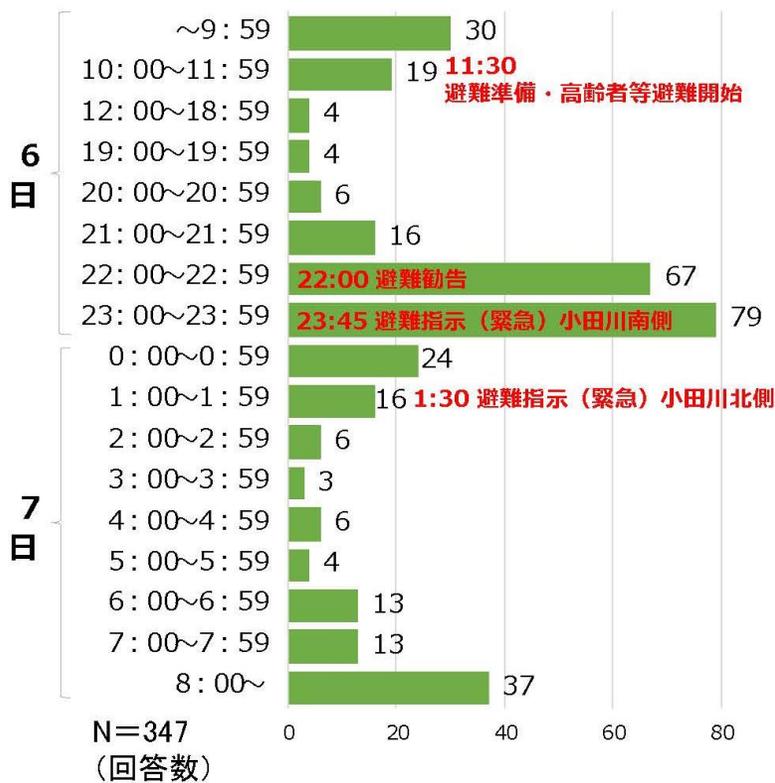
サツキPROJECT



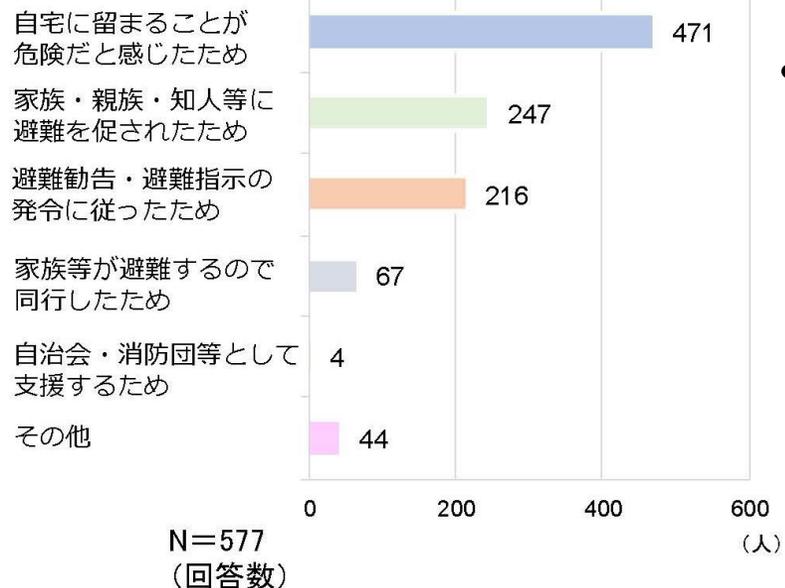
# 避難行動はなされていた

## 避難場所※に避難を開始した時刻

※学校等の公共施設（指定避難場所以外を含む）  
ただし、親戚・知人宅や職場、神社・集会所・商業施設等に避難した世帯は除く。



## 避難した理由（複数回答）



・避難勧告・指示発令の段階で、全回答数（347）の内、225回答（64.8%）が避難開始している。

・課題は避難できない方

# 被害は高齢者に集中

- 真備町の死者51名の内、88.2%にあたる45人が65才以上
- その内、自宅でお亡くなりになった方は44人（86.3%）

要介護度及び身体障害の内訳(倉敷市)

年齢階層	県内全体	うち真備町
65歳未満	12人(19.7%)	6人(11.8%)
65～74歳	17人(27.9%)	15人(29.4%)
75歳以上	32人(52.4%)	30人(58.8%)

死亡場所	県内全体	うち真備町
自宅	44人(72.1%)	44人(86.3%)
その他	17人(27.9%)	7人(13.7%)

要介護度	人数(割合)
なし	33(63.5%)
要支援1・2	5(9.6%)
要介護1	6(11.5%)
要介護2	2(3.9%)
要介護3	4(7.7%)
要介護4	1(1.9%)
要介護5	1(1.9%)
合計	52(100%)

身体障害度	人数(割合)
なし	40(76.9%)
4～6級	4(7.7%)
3級	2(3.8%)
2級	3(5.8%)
1級	3(5.8%)
合計	52(100%)

真備町の死者51人のうち、88.2%にあたる45人が65歳以上である。

# 共同住宅に避難部屋

昨夏の西日本豪雨で浸水被害を受けた倉敷市真備町地区で、住民有志が香川大特命准教授と連携し、身近な避難先を確保するプロジェクトをスタートさせた。第一弾として、被災した建物を改修し、

## 西日本豪雨

高齢者ら災害弱者が逃げ「避難機能付き共同住宅」3月にオープンさせる4居室をリリース。し、地域の絆づくりを考えた。(臼杵正純)

### 有志ら計画

### 避難機能付き共同住宅



### SNS,ウェブシンポジウム

### 被災建物改修 災害弱者を想定 来春オープン

「水害に強いまち」のシンボルとして、避難機能付き共同住宅がサツキが花開くように全国に普及していく。

# サツキPROJECTとは？



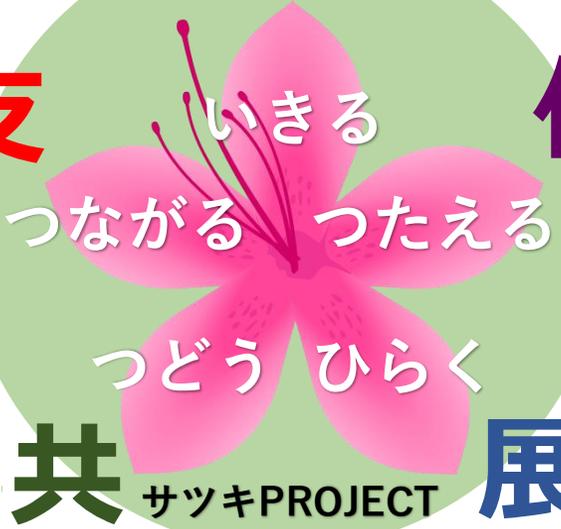
## 興

51人(直接死)の犠牲を伴った西日本豪雨災害からの復興。誰もが尊厳をもった生活を取り戻すための「住まい・生活」を再建。

## 支

## 伝

災害の教訓を目に見える形で、住まい方で伝え、次世代へつむいでいく。



## 共展

サツキPROJECT

「ちょっと困った」を  
「ちょっと得」  
ささえあいの  
仕組み・暮らし方

誰もが、いつ  
も何かがはじまる。  
ちょっとの楽しみもちょっと不安も共有できる。

- 災害に強い建物と地域のきずなを大切に、気にかけてあった暮らしの両方を備えた暮らし方は、今後の超高齢化社会のモデルに。
- 避難所機能付き住宅(ハード)と暮らし方のスタイル(ソフト)の両方が大切。
- 被災者は支援を受けるだけでなく自らもできることがあるとともに地域を作る協働者である。まずは真備に1棟。
- そこから倉敷市全体に、そして日本全国のモデルに。
- 人口の70%が災害の危険性のある地域に暮らしている日本だからこの考え方を広めたい。

# 避難機能付き共同住宅（ハード）

住まいの勉強会参加者の意見でできた  
避難機能付き共同住宅プラン

屋上まで直接スロープ



屋上に炊き出し設備、数十人が最低3日は建物の  
中で過ごせるだけの備蓄

電気設備は3階で2階  
(浸水高) 以上に住まい

1階はコミュニティルームとし、日頃から地域住民が  
交流できる

この計画を知った住民から、「2階は無事だったが  
1階は沈んだアパートを利用してほしい」



被災したアパートの改修プラン

2階のベランダまでスロープにリフォーム。近所の逃げ遅れた方へ安全  
のおすそ分け



コミュニティルーム  
兼地区の防災拠点

近所と話し合っってプランを  
検討。リフォームは、真備  
で活動中の建設系ボラン  
ティアや地域の大工見習の  
方と協力して実施。

コミュニティルームの利活用（平時・災害時）は近所の住民と共に作  
り上げる（備蓄内容なども）

- 入居者は支えあう生活や災害時には自宅が避難所になる可能性があることを理解して入居できる人が条件。
- 2階には子育て世代の家族の入居を目指す※高齢者障害に限定していない。

【質問1への回答】

家賃は倉敷市の生活保護住宅扶助基準相当の35,000円の予定

# 避難機能付き共同住宅（ソフト）

日頃から気にかかけあった暮らしの実現



2022年1月1日サツキアパートにて

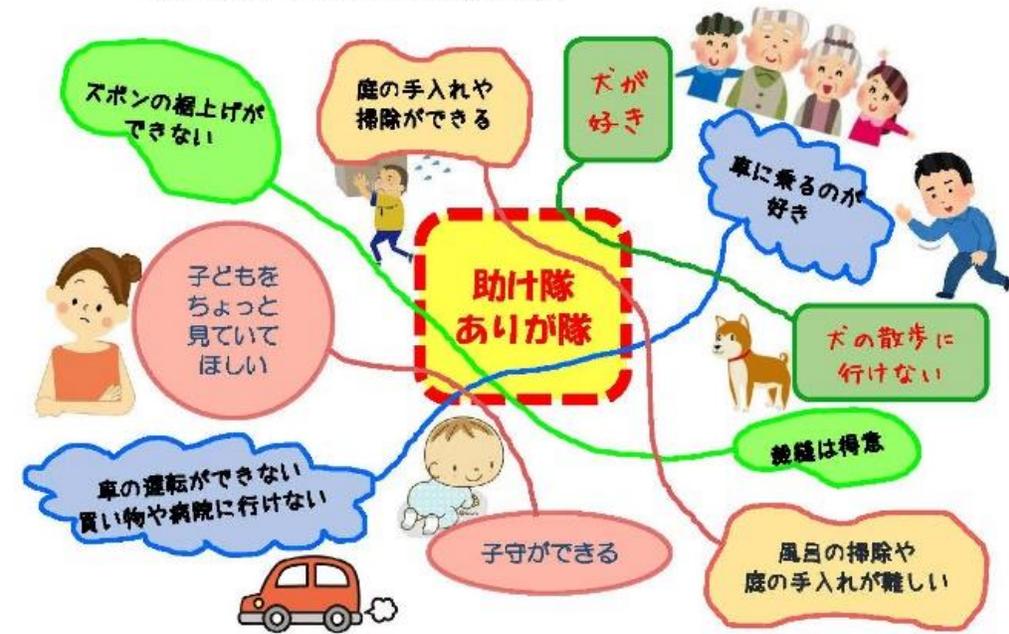
住民同士で生活を支える仕組み



## 助け隊・ありが隊



あなたの「困ったな」と、誰かの「ちょっと手伝うよ」をマッチングする有償ボランティアの仕組みです。▼ひとりの人が、「助け隊」になってサービスを行う時があれば、「ありが隊」になってサービスを利用することもあります。▼助け合う仕組みがあることで、一人でも多くの方が真備に帰って来ることができたらいいなと思います。



# サツキPROJECT

平成30年7月豪雨 被災体験から学ぶ  
～後世へのメッセージ～



国土交通省中国地方整備局  
高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

[平成30年7月豪雨 被災体験から学ぶ～  
後世へのメッセージ～ その3 - YouTube](#)

# 被災体験から学ぶ～後世へのメッセージ～

小規模多機能ホーム「ぶどうの家」代表

津田 由起子さん

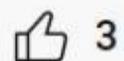


0:24 / 11:33



【高画質】平成30年7月豪雨 被災体験から学ぶ～後世へのメッセージ～  
その3

65 回視聴・2021/07/02



3



0



共有



保存





# 避難機能付き共同住宅の完成 2020年6月 「興」・・・いきる

- スマートウェルネスとクラウドファンディングを活用し資金集め
- 既存ストック(被災したアパートの再利用)の活用



**興**

51人(直接死)の犠牲を伴った西日本豪雨災害からの復興。  
誰もが尊厳をもった生活を取り戻すための「住まい・生活」を再建。

**支**

いきる  
つながら つたえる  
つどう ひらく

**伝**

災害の教訓を目に見える形で、住まい方で伝え、次世代へつむいでいく。

**共**

サツキPROJECT

**展**

「水害に強いまち」のシンボルとして、避難機能付き共同住宅がサツキが花開くように全国に普及していく。





# コミュニティルームの活用

## 「共」・・・つどう 「支」・・・つながる

- 毎週水曜日10時からラジオ体操を中心におしゃべり
- マイタイムラインの作成会議
- 日頃から通い慣れた場所だからこそ避難しようと思える
- どんな場所か何があるかわかっている集まる顔ぶれもわかる。安心できる避難場所。「普段づかいの避難」



「ちょっと困った」を  
ちょっとづつ支えあう、得  
意なこと誰かの役に立つ

誰もが気軽に立ち寄って、いつ  
も何かがはじまる。  
ちょっとした楽しみもちょっと不  
安も共有できる。

**興**

51人（直接死）の犠牲を伴った  
災害からの復興。  
誰もが尊厳をもった生活を取り戻す  
「住まい・生活」を再建。

**伝**

災害の教訓を  
形で、住まい  
次世代へつむ

**支**

いきる  
つながる つたえる  
つどう ひらく

**共**

サツキPROJECT 展

「水害に強いまち  
を、避難機能付き  
が花開くように全



# 避難機能の実際

「興」・・・いきる 「支」・・・つながる

- ・ 台風の時に近隣の方が避難 2020年7月14日



「ちょっと困った」を  
ちょっとづつ支えあう、得  
意なこと誰かの役に立つ

誰もが気軽に立ち寄って、いつ  
も何かがはじまる。  
ちょっとの楽しみもちょっと不  
安も共有できる。

興

51人(直接死)の犠  
災害からの復興。  
誰もが尊厳をもった生  
「住まい・生活」を再

支



伝

災  
形  
次

共

サツキPROJECT

展

「水害  
て、避  
が花開

## 住まいがあるからこそ

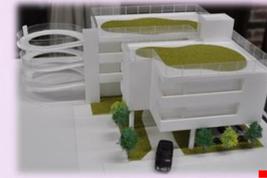
- ・ 地域住民として幼稚園とのかかわり
- ・ 地域住民として町の方々と交流
- ・ いつでも24時間の避難機能を発揮できる。特別な準備も不要。





# 視察・動画発信

## 「伝」・・・つたえる 「展」・・・ひらく



興

51人（直接死）の特  
災害からの復興。  
誰もが尊厳をもった生  
「住まい・生活」を

支

「ちょっと困った」を  
ちょっとづつ支えあう、得  
意なこと誰かの役に立つ

いきる  
つながる つたえる

伝

つどろ ひらく

共 展  
サツキPROJECT

誰もが気軽に立ち寄って、いつ  
も何かがはじまる。  
ちょっとの楽しみもちょっと不  
安も共有できる。

- 国土交通省、大学、議員、マスコミ関係者などの視察
- 500メートルごとに避難できる建物があれば、命は助かる！
- 避難機能付きの建物には補助金を！
- 被災地では、被災した建物の再利用を！
- ハードとソフトが必要！





おいでのサイン



灯り

パン焼き教室

内閣総理大臣賞表彰

体操の会





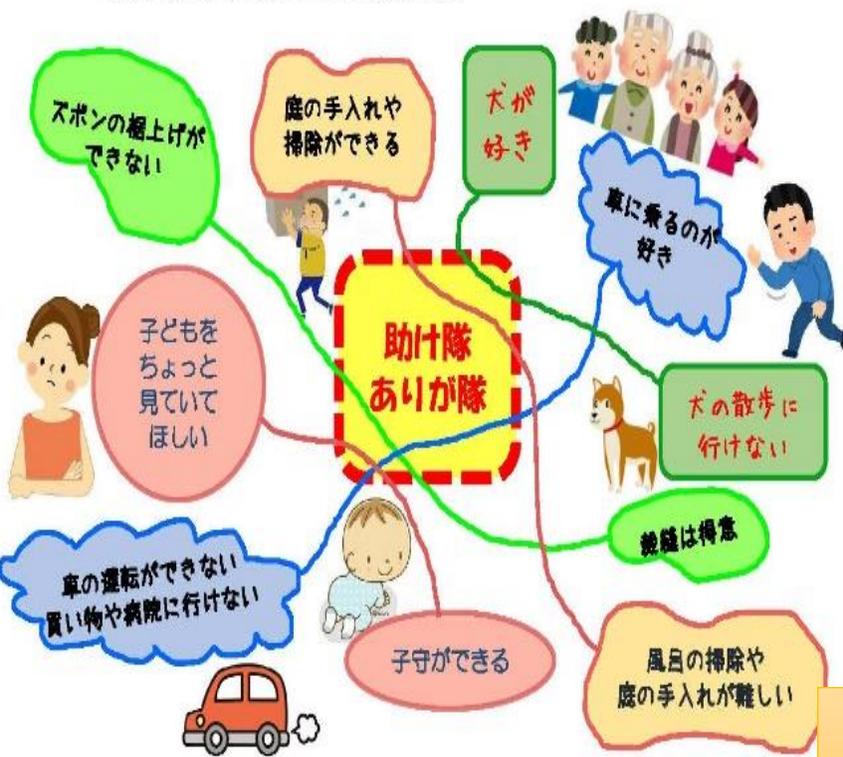
# さえあいの仕組み



住民同士で生活を支える仕組み

## 助け隊・ありが隊

あなたの「困ったな」と、誰かの「ちょっと手伝うよ」をマッチングする有償ボランティアの仕組みです。▼ひとりの人が、「助け隊」になってサービスを行う時があれば、「ありが隊」になってサービスを利用することもあります。▼助け合う仕組みがあることで、一人でも多くの方が真備に帰って来ることができたらいいと思います。



役割のある暮らしは人を元気にする  
アパートだけでなく地域も含めた支えあう暮らし方



きっかけは、「ふれ愛 助け合い事業の勉強会」(6月27日) 倉敷市地域包括、社協、まびラボ 移動ネット岡山、箭田町づくり協議会の方々が参加

有償ボランティアの会「助け隊ありが隊」が8月から活動開始

平常時／災害時 地区防災計画の取組みへ

# 地域連携型マイタイムライン



- 一人では避難しない、できない、ためらう気持ちを理解し合う。
- 一事業所ではどうしようもない
- 私たちは一人ではない！
- 「助けて」と言える関係性が必要。

マイ・タイムライン (個別避難計画)				作成日: 年 月 日
本人(氏名):	家族		近所	組織 (会社・施設・ケアマネ等)
住所:	ふりがな 氏名:	関係: ( - - )	ふりがな 氏名:	名称:
携帯:( - - )	ふりがな 氏名:	関係: ( - - )	ふりがな 氏名:	担当者:
いつもいる場所(昼 夜)	ふりがな 氏名:	関係: ( - - )	ふりがな 氏名:	
避難リュックの置き場所( )	ふりがな 氏名:	関係: ( - - )	ふりがな 氏名:	
<input type="checkbox"/> 一人暮らし <input type="checkbox"/> 高齢者世帯 <input type="checkbox"/> 障害 <input type="checkbox"/> 小学生以下 <input type="checkbox"/> その他( )	ふりがな 氏名:	関係: ( - - )	ふりがな 氏名:	
自宅の危険性 <input type="checkbox"/> 浸水 <input type="checkbox"/> 土砂 <input type="checkbox"/> 地震	ふりがな 氏名:	関係: ( - - )	ふりがな 氏名:	
5-10日 前	<input type="checkbox"/> テレビなどで大雨の情報を知る <input type="checkbox"/> 薬を余分にもらっておく <input type="checkbox"/> 持ち物の確認 <input type="checkbox"/> 買い出し <input type="checkbox"/> 避難先の確認・連絡	<input type="checkbox"/> 大雨情報を伝える <input type="checkbox"/> 薬を確認する <input type="checkbox"/> 買い出し <input type="checkbox"/> 避難先の確認・連絡	<input type="checkbox"/> 大雨情報を伝える <input type="checkbox"/> 薬の準備の声掛け <input type="checkbox"/> 持ち物の確認 <input type="checkbox"/> 買い出し <input type="checkbox"/> 避難先の確認・連絡	<input type="checkbox"/> 避難可能場所の把握・共有 (L3以前) <input type="checkbox"/> (L3以降)
2日 前	<input type="checkbox"/> いつ避難するか相談 相談する人( )	<input type="checkbox"/> 避難準備の声掛け(再確認)	<input type="checkbox"/> 避難準備の声掛け(再確認)	<input type="checkbox"/> 避難準備の声かけ(再確認)  <input type="checkbox"/> ( )対策本部立ち上げ
1日 前	<input type="checkbox"/> 家族・近所と避難準備状況を確認 <input type="checkbox"/> 避難先を決める 候補:	<input type="checkbox"/> 準備状況の確認 <input type="checkbox"/> 要支援者の避難先を決める <input type="checkbox"/> 自らの避難準備	<input type="checkbox"/> 準備状況の確認 <input type="checkbox"/> 要支援者の避難先を決める <input type="checkbox"/> 自らの避難準備	<input type="checkbox"/> 避難所準備
避難スイッチ ( L3 もしくは )				
井 田	<input type="checkbox"/> 避難の希望を介助者に伝える <input type="checkbox"/> 貴重品の準備	<input type="checkbox"/> 避難の声掛け <input type="checkbox"/> 貴重品の準備  <input type="checkbox"/> 車の準備	<input type="checkbox"/> 避難の声掛け  <input type="checkbox"/> 車の準備(担当: )	<input type="checkbox"/> 避難所開設
4 時 間 前	<input type="checkbox"/> 荷物を持って玄関で援助を待つ (居室から玄関まで 分)	<input type="checkbox"/> 避難開始	<input type="checkbox"/> 避難開始	
2 時 間 前	<input type="checkbox"/> 避難終了	<input type="checkbox"/> 避難完了を共有(災害用伝言ダイヤル171等)	<input type="checkbox"/> 避難完了を共有(災害用伝言ダイヤル171等)	
L4 避難勧告・避難指示				
L5 迫進発生				

※: □にチェックがつかない場合は、誰が実施するのか決めておくこと

マイ・タイムラインとは:

災害が起こりそうなとき、自分がいつ、なにをするか整理した行動計画

みんなで避難を考える

地域連携型  
要配慮者マイ・タイムライン  
(個別避難計画)

～作成ヒント集～

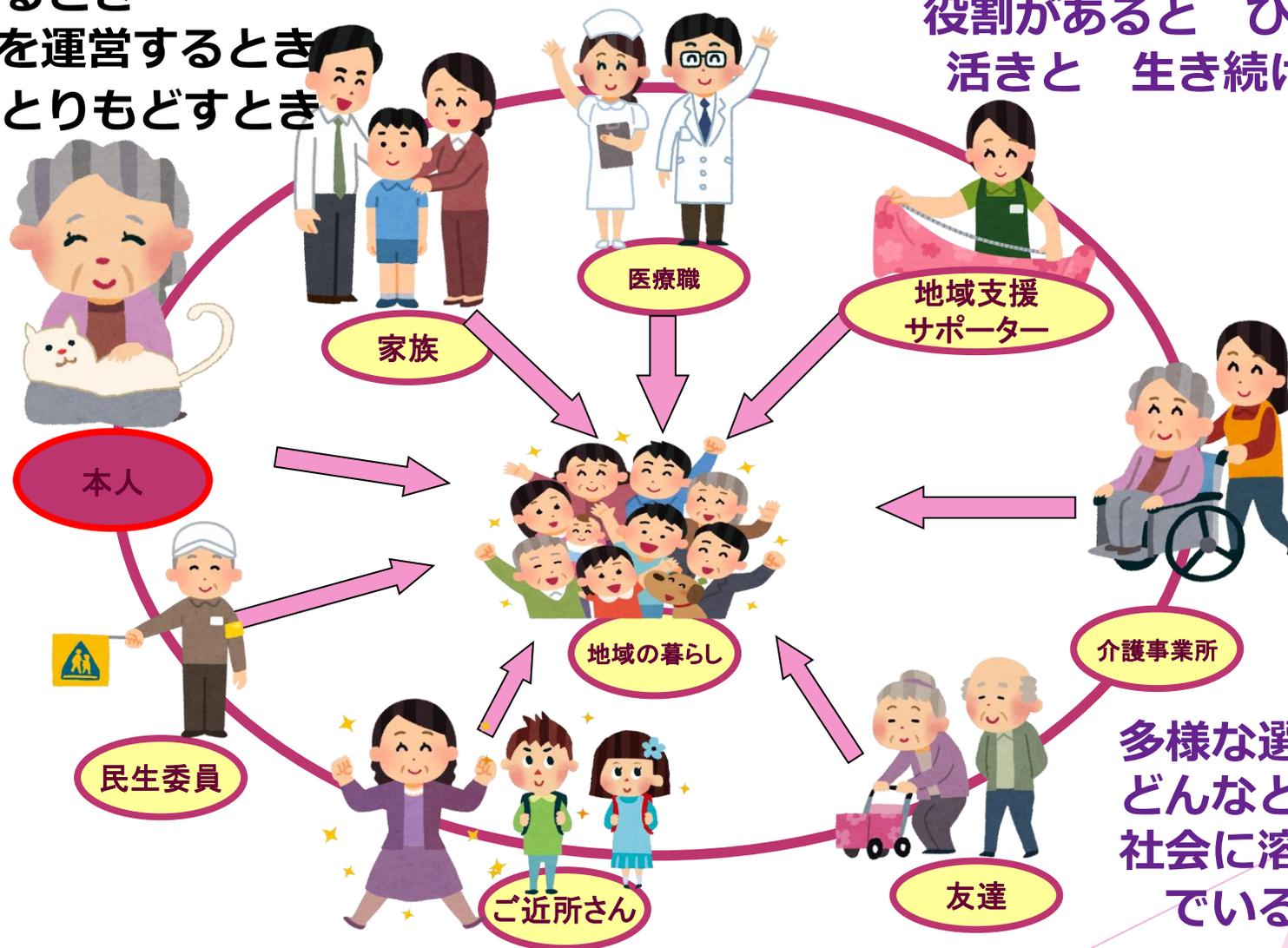
いざという時は、  
みんなで声をかけあっ  
て  
避難しよう！



# すべてのひとが どんなときでも「地域」の 構成員

避難するとき  
避難所を運営するとき  
まちをとりもどすとき

役割があると ひと は 生き  
生きと 生き続けられる



多様な選択肢が  
どんなときでも  
社会に溶け込んで  
いること

地区防災計画に取り組む目標像として、要配慮者の位置づけの考え方  
“助ける側” と “助けられる側” からの脱却